



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行

市議団ニュース

継続して定期的に 防災訓練の実施を

福田明議員の一般質問から

3月14日におこなわれた市議会本会議での
福田明議員の質問の要旨を紹介します。

2012年第1回
定例3月議会

総合防災訓練に 三千人が参加

〔福田明議員〕復興は息の長い活動であり、私も被災者に寄り添いながらがんばる決意である。



総合防災訓練

地元出身の歌手・石井竜也さんもかけつけてくれました。
(大津小学校、3/11)



3月11日におこなわれた総合防災訓練の主な内容からうかがう。

〔柏豊喜総務部長〕津波の初動体制の強化を重点に、防災無線や広報車による伝達やハザードマップによる避難誘導、要援

護者救助や安否確認、避難所開設、炊き出し訓練を実施。自衛隊や海上保安庁、警察・消防、医師会など市内各団体を含め65団体、約3千人が参加した。

〔福田議員〕ある新聞で、岩手県知事は「大震災から何を学び、伝えるか」の間に「リアルな避難訓練。基本的に岩手の学校や幼稚園、保育所で子どもの被害がなかったのは、そういう訓練のたまもの」と答えている。本市でも

市民や子どもたちが自然と体に身につくまで、定期的な訓練は継続して実施すべきである。今回は、大津、平潟、関南の児童が参加したが、次回は精華や中郷第一も参加させるべきである。

〔総務部長〕学校は独自に防災訓練を最低年3回実施しているが、市の防災訓練についても教育委員会、学校と協議し参加要請をしていく。

〔福田議員〕本部長である市長の評価はどうか。

〔豊田稔市長〕福田議員と同じ評価だと思う。たいへん良かった。

文化の街にふさわしい図書館を

〔福田議員〕新図書館の建設について市長は「新たな図書館建設に向け、規模や機能等に関する調査に着手する」としている。その時期や場所はどのように考えているのか。

〔鈴木元市長公室長〕調査の予算を24年度に計上したので、それらの結果を踏まえて検討していく。

〔福田議員〕県内44市町村で37市町村に図書館があるが、本市は人口千人あたりの図書館登録者数は33位、人口1人当りの貸し出し数は31位である。老朽化や利便性でそうとう見劣りしているのが影響していると思う。文化の街にふさわしい新図書館を建設すべきである。

雇用の確保と被災者支援

〔福田議員〕次に雇用創

出事業だが、3年前に私が北茨城高校の就職内定率がかかり低いことを取

り上げて「卒業した翌日に失業者、ではあまりにもかわいそう。政治の力で解決を」との質問に答えて、豊田市長が県内で最初に実施したものであり、私自身も感慨深い施策である。重点分野雇用創出事業で、その職場に定着したのは何名か。

〔市長公室長〕平成21〜23年度の3年間で、緊急雇用、ふるさと雇用、重点分野雇用の3事業で約360名の雇用を確保。うち重点分野(原則1年)で平成22年度に雇用された48名のうち23名が事業終了後も引き続き雇用されている。

〔福田議員〕震災復興計画では災害公営住宅を整備・提供するとしている。早期に建設して、家を再建できない市民の方々に救済すべきである。建設場所はどこを想定しているのか。

〔総務部長〕被災者の意向を十分に把握したうえで、建設用地の確保が容易である市有地の活用を検討している。

〔福田議員〕介護保険料、利用料の減免、国民年金保険料の軽減、国保税の負担軽減、地方税の特別

館のイメージがあまり一致しなかったもので」とつけくわえると、議場内に笑いがこぼれました。

また、市長が「震災で消防本部の移転新築ということも重なり、どちらを優先するか検討したい」と述べたのに対して、福田議員は「やはり市民の安全の観点からすれば消防本部の移転を優先すべき」と発言しました。

「行動派」と図書館

新図書館建設に関連して福田明議員は、市長に「なぜ図書館を新築しようと考えたのか」と質問。市長は「マニフェスト(選挙公約)で掲げたからである。福田議員もそれを見て私に投票してくれたと確信している」と答弁。つづけて福田議員が「行動派の市長と図書

などが23年度で打ち切られるとされているが、延期すべきである。

〔総務部長〕震災復興計画には平成23年と記載されているが、平成24年9月まで延長する。

消防署の移転は「ビッグプロジェクト」

〔福田議員〕消防本部の高台適地への移転は、どこに、いつ頃までに実現するのか。

〔総務部長〕移転を予定している場所は高台で北部幹線道路沿いで、新病院建設予定地との観点からも適所であると考えられる。移転時期については慎重に進める必要があり、現

時点では未定である。

〔福田議員〕津波被害の大きかった地区の重点プランでは、旧磯原には「公園と道の駅」、大津港には「大型直売店舗複合施設」、平潟には「土産販売所と併設した温泉施設、避難所を兼ねた海の見える丘公園」などの内容が盛り込まれている。これらの計画を今後どのような形で推進していくのか。

〔総務部長〕昨年6月に市長を本部長とする復興推進本部が設置されており、市民の意向を十分に把握して、議会にも諮りながら事業化していく。
※このほかに、放射能対策、介護保険制度の見直しについて質問。